

「核・コロナ・気候変動」テーマ

各界の専門家らと対談

被爆

75年

戦後

県と長崎市、長崎大でつくる核兵器廃絶長崎連絡協議会は8日、被爆75年事業の対談企画「核・コロナ・気候変動」問題の根っこにあるもの」を実施すると発表した。長崎大核兵器廃絶研究センター（RECN A II レクナ）の教員が各界の専門家らとそれぞれ対談し、6月上旬から8月9日まで順次、同協議会のホームページ（HP）で

長大レクナ、HPで公開へ

公開する。

核兵器や気候変動に加え、新型コロナウイルスというグローバルな問題に対処するために共通の課題を探り、「やるべきことを見つめる」（レクナの吉田文彦センター長）のが狙い。

レクナ教員との対談者は現時点で5人が決まっている。具体的には田上富久長崎市長、長大の山本太郎教授（国際保健学）と安田二郎教授（ウイルス学）、東京大の高村ゆかり教授（国際法、環境法）、作家の佐藤優氏。

（田賀農謙龍）